

## 2024年6月通常総会議事録

日 時：2024年6月18日（火） 13:00～16:30

場 所：東京都中央区 TKP銀座ビジネスセンター 6A

出席者：1頁参照

### 1. 開会

司会の芦川副会長より開会が宣言された。

### 2. 本通常総会概要説明等

安田会長の挨拶の中でドローン実用化や航空機との調整等も今年度は進める旨の報告があった。

日本学生フライヤー連盟の浅田拓郎副理事長より、学生連盟はコロナ禍があったため、学生間の交流が失われていたことの解決策を検討している等の報告があった。

### 3. 定数の確認・議事録作成人の指名

司会より、議事進行上の注意事項と、会議運営の説明が行われた後、本総会の出欠確認をした。

出席確認：

出席正会員 47名（内会場出席 19、バーチャル出席 11（含議決権行使1））、  
議決権行使 17名

合計出席者 47名 総会員数 47名

総正会員の過半数の出席を得て、本総会は成立した。

議事録作成人の指名： 事務局長 桜井加代子

議事録署名人： 出席理事・監事

定款により安田会長が議長となった。

### 4. 総会の目的事項

#### 報告事項1 2023年度事業報告について

安田会長から、2023年度は新型コロナ関連が収まり、各地エリアでコロナ前に戻りつつあるが、フライヤー会員高齢化に伴う会員数の減少が続いていること、総会・理事会・委員会はハイブリッド型が一般的になり経費の削減に効果を示していること、安全セミナー開催等で一層安全啓蒙を進めていることの報告の後に質疑に入った。

静岡県連：リパック認定証更新講習会は回数の割に人数が少ない。3年に1回を5年にしたらどうか。事業としてのやり方、認定証自体を変える必要はないか。

高知県連：地方は人数が集まらないこともありリパック回数が難しい。

岡山県連：リパックはテキスト化すれば自分で出来る。総会での希望や問題提起したことは理事会で検討して欲しい。

議長（安田会長）：総会での要望等は担当委員会で検討している。

教員スクール事業委員会 北野委員長：リパックを5年にすることは検討する。メーカー説明書では半年に1度、少なくとも年1度のリパックは必要である。認定証を取るための練習は同じパラシュートでも可能。最低限の制度にしているので実情に合わないからと緩くは出来ない。リパックは客観的に出来ているかチェックする制度である。正会員は制度を守る方向で啓蒙して欲しい。

岡山県連：いい加減にやっている人がいる、定着していない、ばらつきがある、自分より知識がない人もいて、

制度として成り立たない。

北野委員長：最低限の資格制度を守らないと技能証制度も成り立たなくなる。

高知県連：システムを否定していないので、維持するために講習会等の方法を考慮して欲しい。

安田会長：制度自体については継続的に意見を言っていたるか制度を作る側になってください。パラグライダーのパラシュートは重要なので専門の委員会に任せている。人口が多い、少ないエリアがあることは根本的な問題であり、県連自体を維持出来るかもある。人口が少なくても同じように安全に飛ぶ続けることが出来ることを考えていきたい。

静岡県連：活動実績は定期的に発行して欲しい

岡山県連：上級タンDEM検定の運用を見直すか、制度の考え方を変えて欲しい。

北野委員長：現状では需要と供給が収まっている。人数が集まれば対応する。成り立たないとばかりではなく、県連として検定会の開催を検討する方向で協力して欲しい。建設的な案を出して欲しい。

岡山県連：上級タンDEMを取得しないと講習生を教えられない。JHFは競技にお金をかけるより公益社団法人でユニバーサルサービスの必要がないのか。

山口理事：基本的には自由に空を飛べるために、自分達で制度を作って守るものである。各都道府県連盟の方々には制度を理解していただき、活動を広めていただきたい。JHFが何かをすれば地方がよくなるのではなく、地方から盛り上げていただきたい。タンDEMが法律で規制されると厳しくなるので、制度を維持しつつ皆様のご協力でやっていくことが必要です。ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

大阪府連：地方はマンパワーがなく活動しにくい。全体に平等にやっていくために、各都道府県連盟の事業費を一律補助にしたらどうか。

新潟県連、高知県連：賛成

静岡県連：静岡は県連登録費を集めずJHF分配金だけで活動しているが毎年貯金残高が減っている。

神奈川県連：反対。毎年会費2千円を集めてぎりぎり。

学生フライヤー連盟：参考ですが、学生連盟は人数に応じて配分せず全地方一律配分で各地方独自のイベントや大会に補助金を支払っている。

## 報告事項2 2023年度決算報告・監査報告について

安田会長から決算報告の後質疑に入った。

静岡県連：ハングパラ振興委員会、制度委員会は予算を取っているが支出がない。

制度委員会 中瀬委員長：制度委員会はメールでのやり取りをメインで活動しているので支出がない。

濱田理事：ハングパラ振興委員会はフォトコンテスト計画があり予算計上したが実施していない。

広島県連：教員スクール事業委員会で検定会費用の出費が予算より多い理由は？

山口理事：九州の上級タンDEM検定の再講習を実施した際、教員検定、更新講習会も合わせて臨時で開催したため。

岩村監事から会計及び業務は適正である報告があった。

岡山県連：X-ALPSへの50万円補助は正しいのか説明が欲しい。

山口理事：江本選手からJHFへプレゼン資料が出て支援依頼があり理事会が検討した。

岡山県連：3月8日に特別な規程を作っている。クラウドファンディングで目標額は達成しているしJHFからの支出は疑問。会員登録は有効なのか。

安田会長：特定の個人に出すことに見えるから公益性に反しないか議論した。これはチームに対する援助であり、マスコミで報道され普及活動に役立つので決めた。今後もこのようなことがJHFでありえるので制度を作った。

濱田理事：世界選手権選手への補助比較や反対意見も出た。NHKで放映があり一般の普及だけでなく、仲間が出場することで全国会員の連帯感や高揚感になる。クラウドファンディングとは関係なく支出額は決めた。岩村監事：公益事業推進費は昨年総会で予算計上している。50万円は小さな金額ではないが、会員が盛り上がることで、個人ではなくプロジェクトでやっている。会員かどうか等は必要ではなく、パラグライダーの普及に役立つかで決めている。

青森県連：会員なのか？

山口理事：海外在住もあり間が空いている時期はあっても会員登録している。

新潟県連：X-ALPSで活躍する選手に対して貢献することで50万円を認めた投資。JHF会員であるかはそんなに重要ではない。

## 決議事項1 貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

報告事項2の中で説明された、貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）並びにその附属明細書および財産目録の承認について議決する。

### 決議事項1について採決し

【賛成：46（会場出席19、オンライン出席10、議決権行使17） 反対：1 棄権：0】  
で承認された。

## 報告事項3 2024年度事業計画について

安田会長から2024年度事業計画について概要説明を行い、質疑に入った。

栃木県連：事業内容の安全対策に関連して、大平エリアで米軍機が低い高度で通過した。別件で今年はモーターパラグライダーの重大事故が4件発生、パラグライダー事故と言われるため、普及の上でイメージが悪い。

安田会長：米軍機の動画を見てテイクオフより低い高度を大型機が通過していた。具体的な方策を考えて実行したい。

橋田理事：モーターパラグライダー事故4件の1件は病死の疑いが強い。委員会としての対策は安全意識とスキルの向上なので、全国で安全講習会、安全点検を開催する。注意喚起の教習ビデオを作成している。

新潟県連：モーターパラグライダーは水死が多い。水の上を飛ばないといけない理由を知りたい。

橋田理事：内陸部だとサーマルが発生するが海側は発生がなく安定しているためモーターパラグライダーに適した環境である。

安全性委員会 伊尾木委員長：海上で飛ぶ時は低空で飛ばないで欲しいとしている。エンジントラブルは対地高度を考慮して浜辺に降りる。1月にラインが絡んで落ちた事故があったが、モーターパラグライダーだけでなくパラグライダーも注意喚起と捉えて欲しい。

香川県連：教員スクール事業委員会でセミナーや検定会、講習会の開催とあるが回数や場所は決められているか。

北野委員長：委員会主導と教員検定員主導、リクエストに応じた開催がある。日程は随時JHFホームページに出すので定期的に確認をお願いします。

兵庫県連：無人航空機の情報交換は具体的にどういうことか？関連してFanetはヨーロッパで普及しているが使ってよいか？

安田会長：現在の制度は、ドローンを飛ばす側が情報を出している。ハング、パラグライディングのエリアは決まっているので逆にドローン側が気を付けて欲しい。

伊尾木委員長：無人機対策は全国エリアマップを作りJHFホームページにアップした。完全に網羅は出来ていないので、確認をして追加等があったら事務局へご連絡ください。

香川県連：地域毎に管制局に通知を出す、国交省や航空連盟等に発信する必要はないか。

伊尾木委員長：パラグライダーは航空法に含まれている訳ではないので現実的ではない。レベル3以上（目視外飛行）は毎日飛行計画が届きデータ化されている。確認作業だけでも専属がいないと難しい。公開は控えて欲しいと言われている。対策は検討する。

山口理事：Fanet は実際に使えない。国内利用はオフにしているのが基本です。

## 報告事項4 2023年度収支予算について

安田会長から収支予算報告の後、質疑に入った。

青森県連：2026年は青森国体があるが助成金はもらえるか。

芦川副会長：2025年3月までに申請を出せば予算に組み込む。

岡山県連：競技人口は少ないのに競技費用比率が大きい。大会参加者のエントリー費から出したらどうか。

PG 競技委員会 岡委員長：スポーツが発展するために競技がある。受益者負担を前面に出すと競技は発展しない。

岡山県連：会員8割はサンデーフライヤーである。競技を見て自分には無理だと諦めてしまう人も出る。理事会は偏ったグループで公平に扱われる制度で民主主義にして欲しい。

新潟県連：大会を主催する側だが、県連会員で大会にばかりお金を使っていると言う人がいる。

安田会長：JHFは競技に一定の支出をする。競技をしている人達が飛行技術を支え、それぞれのエリアでフライヤーを引っ張っている。一定の支援には意味がある。日本選手権はJHF主催で、世界選手権も積み立てて助成しているが、選手の方々は莫大なお金を注ぎ込んで参加している。理事会の議論に別意見があるのであれば、理事会に入ってください。

安田会長：報告、決議は終わりましたが、他にご意見等があればお願いします。

大阪府連：学生フライヤー連盟の砂丘合宿が9月3日～5日予定であるが、その時期は熱中症が懸念される。時期をずらせないのであれば十分注意が必要。熱中症指数が出た場合も検討して欲しい。

学生フライヤー連盟：参加出来ない大学があり日時はずらせず募集開始の段階。熱中症に関しては注意して、交流に力を入れる等考える。

伊尾木委員長：モーターパラグライダー4件の事故はJHF会員ではないが、他団体の事故内容も確認する。モーターパラグライダーはしっかり管理出来ていないフライトが多い。単独で飛ぶことはリスクが高い、講習を受けておらずSNS等で見様見真似で飛んでいる人もいる。正会員の皆様も情報があれば事務局に連絡して欲しい。

モーターパラグライダーで、他団体の教員だがアドバイスをしたが事故があり遺族から教員が訴えられる可能性がある。鳥取合宿について、未成年ではなくても親の承諾をもらう等をしないと学生連盟が訴えられる可能性もある。最悪な状況も踏まえて対策、検討をお願いしたい。

大阪府連：ハンググライダー、パラグライダーの怪我には誓約書があるが、3年前鳥取砂丘で観光客が熱中症で亡くなった。合宿は体調万全でないこともあり、熱中症の危険を告知して欲しい。

学生フライヤー連盟：パラグライダー、ハンググライダー以外に関しては記載していなかったもので、伝えるようにする。

橋田理事：香川ではスクールは3年後に消滅、高知はスクールがなく、徳島は教員が0、愛媛はスクール1校。団塊の世代が辞めていったらもっと減る。理事会へも問題提起をしているので各理事も共有している。試行錯誤で議論しているが、提案があれば理事会へお願いしたい。

愛媛県連：愛媛スクールの1校だが、いつまでやれるか体力勝負。加速して人数が減る。JHFの組織、委員会は目標があるか。

安田会長：大前提はフライヤー会員を増やす、事故を減らす。高齢化で会員が減ることをどうするか。教員を増やせばどうかで増やしたが質が下がった。レベルを維持したままで会員を増やすことを地道にやった方がよいと思う。

北野委員長：現在は委員会主導で、理事会が認める形になっている。理事会から大きな目標を出して、委員会が検討していくのが理想と考える。委員会は行うことが多岐に渡っているため、戦略的なことは理事会でお願い

いしたい。

岡山県連：理事会議事録を読んでも理事会は見当違い。20代を増やしたいとしているが、それより50代を増やせばよい。全国的な活性化ができていない。一般の人にアンケートを取る等、情報を集めての議論をして欲しい。

中瀬委員長：岡山県連の意見も分かるが、理事会と違う考えを持っているのであれば理事会に参加すればよい。スポーツ庁は、外部理事、女性理事を入れるようにと言われている。候補を出して欲しい。

群馬県連：JHFの理事に立候補するための条件は？講習生でもよいのか？

役員選任実行委員会 鈴木委員長：フライヤー登録と正会員の推薦が立候補の条件。外部理事を入れられるように議論を進めたい。

学生連盟：学生連盟の弘前会員はJPAであるが、JHF主催者賠償責任保険はJHF会員ではないといけな  
いか。

芦川副会長：主催者賠償責任保険はJHF会員の保険のため、全員がJHF会員であることが必要。

## 5. 閉会

司会より閉会が宣言された。

この議事録が事実と相違ないことを確認し、記名捺印する。

令和6年6月18日

議長・理事 安田英二郎 印

理事 芦川雄一郎 印

理事 竹村治雄 印

理事 橋田明夫 印

理事 濱田 革 印

理事 山口隆文 印

監事 岩村浩秀 印

議事録作成人： 桜井 加代子